

第六期第2回あきる野市環境委員会 報告（概要）

■日 時：令和5年2月27日（月）19:00～20:30

■場 所：あきる野市役所別館3階 第1会議室

1 開 会

- ・ 事務局より開会の挨拶

2 挨 拶

- ・ 委員長より挨拶

3 議 題

(1) 「令和4年度 あきる野市環境白書」について

- ・ 「環境白書」について事務局から説明
- ・ 「第二次あきる野市環境基本計画」について事務局から説明
- ・ 「第二次あきる野市環境基本計画 改訂版」について事務局から説明
- ・ 令和4年度までの点検評価作業について事務局から説明
- ・ 令和5年度以降の点検評価作業について事務局から案を提出した。一連の流れに大きな変更はなく、点検を行う範囲についても、前回と同様、アンケートを取った上で担当する分野を決定し、希望の分野と「人の活動分野」を点検していただく。
- ・ 大きく変わる点としては主に2点。1つ目は、調査票の変更に伴う点検項目の減少。2つ目はグループでの点検について。今回はグループごとに話し合いや意見交換をしながら、質問や意見等をまとめていただきたい。
- ・ 環境白書作成までのスケジュールについて事務局から説明

委 員： まとめるのはよいが、担当課の評価というのが課や係が違っていった場合、それらをまとめて評価するのは難しいのではないかと。項目が少なくなるのがよいのか悪いのか、改悪になる可能性がある。グループで集まったときに、委員が担当課を呼んで質問をして、答えをもらうのが本来の白書の作り方だと思う。

事務局： 項目の数を減らしたというよりは、改訂にあたって時代の流れに沿っていない施策や事業が終了している施策等を整理したことで最終的に減っている。担当課の評価の欄については事務局も悩んだ部分があり、担当課の評価があった方が環境委員として見る目安になるとの意見があり、欄を残している。ご意見についてはごもっともだと思うので、検討させていただく。

委 員： この案は、委員長と副委員長は事務局と一緒に確認したのか。

事務局： 協議している。

委員長： 事務局の案にアドバイスをしている。

委 員： 割愛の方法などを一緒に考えたりはしていないのか。

委員長： していない。

- ・ 調査票の変更点について説明と確認をした。

委員： 実施計画があるからこそ事業を進めているのに、その経過が分からないから評価のしようがない。このまま出されて何を評価するのか。

委員長： 新任の委員もいるので、分かりづらいということであれば前のものに戻すことは可能か。

事務局： 可能。

委員長： 提案のため、委員から見てどう評価しやすいかを言っていただければ事務局が対応する。対応したのに対して各課に評価依頼をしていただくという形になるので、質問や意見を言っていただければと思う。

委員： 我々がグループ討議するときに渡される資料は、実績という欄に説明が加わったものであり、それを見てグループ討議をするという意味か。

事務局： そのとおりである。

委員： 前のものがあつたから次の言葉が出てきた。これだけを見てしまうと前のものが分からない。それで各課で評価されても分からない。これらの文面では見当がつかない。前のものは資料が沢山あり細かかったが、流れが見えていた。流れが見えないところを評価するのはいかななものか。前の方が分かりやすい。

委員： あくまでサンプルであることは承知しているが、どう割愛していくのか、かなり色々なパターンや考え方があり大変だというのが分かる。このまとめ方での評価の難しさは、今までの前例があるところでのバランスの難しさがある。作るのが大変だったと思うので、変えるのが大変なのは十分理解できる。割愛とまとめがうまくいき、ある程度軌道に乗ると、新しい方が分かりやすく令和6年度以降が楽になると思う。ただし、楽の仕方を間違えるとよく分からないことになる。

委員： 今回の項目を変えたならば、3年の自己評価を3年間続けるということで解釈してよいのか。

事務局： 基本的にはそのつもりである。改めて変える形になるため、変えた後に作業をし、前回の方がよいという点については、毎年度変えられる部分については変えていきたいと考えている。

委員： 項目自体は来年度変わる可能性があるのか。

事務局： 環境基本計画に変更がなければ項目も変更はない。

委員： 見やすさは提案のものの方がよい。分かりやすそうである。

委員： 前回のものは字が小さくて読みづらかった。

委員： 前回のものは同じ実績が複数あって分かりづらかった。シンプルなものの方が見やすい。

- ・ その他調査票に意見がある場合、調査票のグループ分けについて意見がある場合は、3月15日（水）までに事務局に連絡をいただく。

※ 例年は3グループ

(2) 新省エネ型生活 10 か条について

- ・ 新省エネ型生活 10 か条について事務局から説明
- ・ 「全何か条か」「項目」を選んで3月15日（水）までに事務局に提出していただく。

委員： イラストがないものがあるが、これは文言で選ぶということによいのか。

事務局： イラスト等は変更の可能性もあるので、アンケートは文言で判断していただきたい。

委員： 何か条か選んだ個数分の項目を選べばよいのか。

事務局： 仮に12か条を選んだ場合、項目を12個選んでいただく形になる。

(3) 環境フェスティバルについて

- ・ 令和5年度は5月13日（土）に「エコライブあきる野 環境フェスティバル 2023」を開催する。ブースの他、ゴーヤの苗配布なども行うので、ご協力をお願いしたい。

委員： 環境委員会のブースで「SDGs」を紹介するのはどうか。来た人にあきる野市にはどれがアットていると思うかシールを貼っていただき、アンケートをするなどはどうか。

委員： 会場に来ているキッチンカーが出すごみが多い。

委員： ゴーヤ苗配布等に使用しているビニールの袋を紙袋に変更できないのか。

委員： 同じビニール袋でも生分解性のものがある。

委員： 現状の予算でできることを検討してほしい。

4 報告事項

- ・ 「小さな子どものおさんぽ会」の報告

5 その他

委員： 委員同士で連絡先が共有されていないので、連絡や報告が滞っているところがある。

委員： すぐに情報を回せるようなメーリングリストが欲しい。電話番号、メールアドレス、LINE でもよい。

委員長： 環境白書をまとめるときに班の人にメールを送るなどして共有・まとめを行ったことがある。

- ・ 事務局に、委員同士で連絡先を共有してよいかの確認も含め、連絡先の集約を依頼された。

6 閉 会

- ・ 副委員長より挨拶